

到着時の様子
こちら Findlay には 8 月 22 日(水)の 17:00 頃【現時時刻です】に着きました。ちょうどその前々日に洪水に見舞われ、市の中心部などの建物は床上浸水となりボートで救助された方もおられたようでした。私が Findlay に入ったときも、大学の敷地内の一部には大きな池ができていました。学生寮も地下室に水が入り、業者の方が水を抜いていました。 8 月 24~26 日までは留学生のためのオリエンテーションが行われました。その次の 27 日から大学の秋学期が始まりました。留学生はオリエンテーションの時に TOFEL-ITP と Essay の試験を受けて、大学院か学部か集中英語コース(IELP)に入学することが決定します。留学生は、今私が知っているだけで中国・インド・台湾・韓国・日本・サウジアラビア・トルコ・ガーナから来ています。中でも中国とインドからがとても多いです。私の台湾人の知り合いは「初めてここに来た時にインドかと思った」と言っていました。確かに、インドの学生が多くて驚きました。
集中英語コース(IELP)とは
IELP ではレベル 1~5 に分けられ、それぞれのレベルに応じて授業を受けます。内容は Composition・Reading・Grammar・Communication Skill・Listening に分かれています。他に、American Culture&Conversation と TOEFL の授業を希望すれば取ることができます。授業は 1 コマ 50 分で、休み時間は 10 分です。IELP では二つの建物の教室をよく使います。基本的には 9:00~16:00 まで授業です(曜日によっては間に授業が無い時もあります。) 私は TOEFL の授業も取っているので 19:00 まで授業がある時もあります。ようやく先生が何を言っているのか分かってきました。しかし知らない単語が出てくると、それを調べるうちに授業が進むので単語力が欲しいです。
Findlay の気候
こちらは北海道と同じ緯度にも関わらず、暑かったです。最近はどうでもありませんが、到着したころは暑くて驚きました。また、日が沈むのも遅く 20:00~21:00 まで明るい日もありました。こちらの先生いわく一日の中に四季があるようで、温度が良く変わるので体温調節が大変です。また、建物の中にはなぜか寒く長袖の上着が欲しい時もあります。今は、冬に向かって木々が色を変え、落ち葉が増えてきました。天候はよく変わります。また乾燥しているので風邪を引くと治るのに時間がかかります。これから冬に向かうのが心配です。いろいろな人たちから大変だという話を聞くので、長靴を用意しておこうと思います。あと個人的にももう少し湿度が欲しいです。
学校での食事
寮に入っている学生は、学校の Meal Plan 入ります。これは一定の金額を最初に払い、一学期間の食事が食堂にてできるものです。Plan1~5 まであり、自分の生活様式に合ったものを選ぶことができます。この食堂は寮以外の学生もお金を払えば利用できます。 食堂ではピザ・ハンバーガーにサラダやラップサンド、たまにヌードルやライスもあります。日によって献立が変わり、他にもクッキー・ケーキやアイスクリームなどもあります。自分で好きなものを選び食べたい分だけ食べられるので、とても太りやすい環境だと思います。食堂は一週間開いており 7:15~19:30 まで利用できます(土・日曜日は 10:00~18:00)。 他にも食堂以外にカフェが二つあり、コーヒーやホットチョコレートなどの飲み物やマフィンやケーキなどもお菓子やサンドウィッチなどの軽食もできます。

科目について

今回は自分が学校から頂いた時間割表を作り直したものを添付します。

私のレベル 3 のセクション 2 は毎日、この時間割表に沿って勉強しています。私のセクション 2 はちょうど 12 時から昼食をとることが出来ますが、他のレベルやセクションの生徒は、授業によって時間をずらして食べる時もあります。

Composition はとにかく文章を書きます。教科書の問題を解くこともありますが、ほとんどが出された課題について文章を書いています。この授業ではエッセイを書く宿題が良く出されます。私はこのアメリカ式の文章構成が苦手です。

Reading は本、雑誌、新聞などの読み方について学びます。今月の後半は **Halloween** についての授業をしました。普通の教科書を使った授業とは違い面白かったです。アメリカの文化を学ぶことで移民から始まった国だということを改めて思い出していました。この授業では 2 週間に一度、新聞などから記事を見つけてそれについて、単語の意味を自分の言葉で書き、記事の要約と感想を書く宿題が出されています。これは意外と時間がかかります。

Grammar は、この 5 つの授業の中で一番分厚い教科書を使っています。宿題はほぼ毎日出ていますが、内容は中学・高校で習っていたことです。ただ使っている単語が分からなかったり表現が違ったりしているので、混乱を招きます。質問をしたときも分からないことを英語で理解することになるので、単語力と聞きとる力が大切になります。後から日本語で考えると「あー、なんだそのことか。」とよく分かります。

来る前に考えていたより宿題は少なめですが、自分でどんどん勉強していかないと会話や聞き取りは上達しないと思います。こちらでも自主勉強は大切です。

行事について

大学ではほぼ毎日、大小のいろいろな行事があります。入学すると学生用の予定表のようなものが配られ、それに毎日の行事が書いてあります。それ以外にも、いろいろと行事があるので、掲示板や送られてくるメールを確認しておくで見逃さずに済みます。



これは、9 月の終わりにあった「ジャズコンサート」です。これは屋外でありました。演奏している人たちはニューオリンズから来られています。理由は、以前ニューオリンズの周辺がハリケーンの被害にあった時に、こちらから援助をなさったお返しだそうです。フィンドレーは 8 月に洪水に見舞われたので、その援助のお返しでもあります。なんと市長さんが飛び入りで歌われていました。お上手でした。

科目について

今回は残りの科目について書きます。

Communication は、主にスピーチを行います。教科書を使った授業もありますが、隔週で何種類かのスピーチを行います。今まで、即興的・実演的・説明的・グループ的などを行いました。準備の期間にもよりますが、原稿を考えたりパワーポイントを用意したりと大変です。この中では、私は即興的スピーチが好きです。その場で課題をもらい、10～15 分で内容を考えます。好きな理由は、今の自分が持つ本当の英語を話す力を自分で認識でき、また客観的な評価として点数が付けられることです。他にこの科目には地域の方のお宅を訪問する日があります。違う国の生徒と二人一組なり週末にお宅を訪問します。

Listening は、聴覚的な教材をよく使います。先生がおもしろい方なので楽しい授業です。また実際のテレビ番組を使い授業をするときもあります。

American Culture & Conversation は、特別な科目です。この科目を取っている生徒は、学校側がフィンドレー大学の生徒や地域の方からパートナーを見つけてくれます。そのパートナーと週に一回会い、話をしたり買い物に行ったりします。何をするかはそれぞれのパートナーと自由に決められます。私のパートナーは教育学が専攻のバレーの選手でした。彼女は新入生で将来は体育の先生になりたいそうです。パートナーが地域の方だと教会に行ったり学校外で会うことになります。もちろん毎週の授業もありますが、課題はパートナーと会って何をしたかを写真付きのレポートで書くことです。

TOEFL の授業は、TOEFL 対策の課題をします。実際に試験を受けたり、解説をしてもらったりします。今 TOEFL にもいろいろ種類があり、この授業では iBT 用の課題をします。特に宿題などはありませんが、今学期の中では一番時間が長い授業です。毎学期、留学してくる生徒のうち何割かは別の学校を希望してフィンドレー大学から離れていきます。私が知る限りでも、気づいたらいなくなっていた同級生が何人もいます。

今月の行事



これは、10 月の終わりに行った「Corn Maze」の写真です。学校から車で 20～30 分の所がありました。

大きなトウモロコシ畑を迷路にしてあり、「アメリカって大きいな」と感じました。

もう季節の終わりなのでトウモロコシは緑色ではありませんでしたが、それでも約 155cm の私とほぼ同じ背丈でした。

トルコ、日本、アメリカの混合チームでゴールを目指し頑張りました。

一番私が頼りにならなかったです。

秋学期の行事

秋学期も終わり、ここで今までどのような行事があったか振り返りたいと思います。

「Bubble」



これは9月の初めにありました。服を着たまま、このビニールプールの泡の中に飛び込みます。音楽をかけながら、みんなでワイワイと泡を楽しみました。ただ私は眼鏡をかけているので、あまり奥まで行けませんでした。大量の泡が頭上から落ちてくるので前が見えないのと、少々呼吸が出来ませんでした。他にも大きなビニールの滑り台などがありました。

「Concert & Lecture Series」



これは年に4回あるコンサートの総称です。トレド交響楽団を招いて音楽を楽しみます。秋学期は9月と10月に2回ありました。事前に券をとっておく必要がありますが、学生は無料で鑑賞することが出来ます。これに必要な費用などは寄付で賄われているようです。アメリカらしいです。

私はクラシックが好きなので、とてもうれしかったです。

写真は第1回のものです。

番外編

「Halloween」



授業でも習いましたハロウィーンです。これは学校の行事ではありません。私がどうしてもカボチャを彫ってみたくて、アメリカ人の友達にお願いしたら用意してくれました。

せっかくなので、他の日本人も誘ってみんなで作りました。私のカボチャは向かって右端です。ちなみにこれは廃棄する直前の写真です。やはり生ものなので腐っていました。

【フィンドレーの冬】

日本の北海道と同じ緯度にあるフィンドレーなので、雪もたくさんふります。こちらの雪はとにかくサラサラです。キラキラしているのでとてもきれいですが、積もるとやはり厄介です。



これは私の寮の2階から撮った写真です。ちょうど冬休みに入った頃です。

多いときは膝上まで雪が積もります。

オハイオ州には雪の状況に応じてレベル1~3に分けられます。レベル3になると外出禁止となり、お店も営業できなくなります。初めてレベル3になったときは、それを知らずに外出してしまいました。このとき運よく除雪車の方に寮まで戻してもらいました。

また驚いたことに、こちらには冬用のタイヤがないそうです。福井ならば冬用タイヤに変える時期の初めと終わりは悩みどころですが、こちらはその悩みはないようです。

【学校の施設】

フィンドレー大学にはさまざまな施設があります。授業に使う建物はもちろん、それ以外にも地域の人たちも使っています。



これは室内に体育館とアイスリンクがある建物です。

体育館の大きさはバスケットコートが3つあるくらいです。そのコートの周囲をトラックが囲っています。またフィットネスセンターも完備されているので、筋トレの機械もたくさんあります。

アイスリンクも週末の夜は学生に解放されているので、よくみんなで滑りに行きました。

他に室内プールが別の建物にあります。これも週に2回ほど学生が自由に使えます。フィットネスセンターもアイスリンクもプールも使用するには学生証があるので、忘れずに持っていく必要があります。

こちらの写真は屋外にある、テニスコートとバスケットコートです。天気の良い日は、みんなでスポーツを楽しみました。私はスポーツが苦手なので、もっぱら観戦していました。

他にビーチバレーのコートが近くにあります。海のないフィンドレーですが、なんとなく浜辺を思い出していました。



【大学周辺での買い物】

学校内に食堂やカフェテリアがあるのであまり外で食事はしませんが、学校の周りにもいろいろと店はあります。今回は歩ける範囲の店を紹介します。

「George House」



学校の東側に道を挟んであります。

コーヒーやチャイなどの飲み物や、パニーニやケーキなどの軽食もあります。寒いときは温かいホットチョコレートが、暑いときは冷たいチャイがお勧めです。

他にお土産用のチョコレートやドライフルーツ、茶葉なども売っています。

よくみんなでスケートに入った後や、なんとなくすることがないときは、誘い合って行きました。

黒いソファが快適です。

「Seven Eleven」



学校の北東、道を挟んであります。

初めて見たとき、何かの見まちがいかと思いました。しかし日本とほぼ同じの看板でした。

中身は、日本とほぼ同じです。

フィンドレー大学の学生が日本に留学して、コンビニを見つけた時うれしかったという話を聞きました。私はあまりコンビニを使わないので、そんなにうれしくはありませんでしたが、改めて日本文化の浸透度を感じました。

ちなみにフィンドレーには「サークルK」もあります。しかし中に入ったことはありません。

「Maria's Tacos」



学校の南にあります。

タコスのお店です。タコスにもいろいろ種類があり、皮や中身がいろいろあります。

オハイオ州はアメリカの北にありますが、ここにも中南米のお店がいくつかあります。

食堂に飽きたときや、平日に食事を作りたいくないときはみんなで利用しました。

お値段も高くなく、味もおいしいです。

・学校外での活動

フィンドレー大学には、日本語プログラムがあります。

先学期は日本語プログラムをとっているアメリカの学生と、日本の留学生とでグループを作り「紙芝居」をしました。私は紙芝居はするのは初めてでした。

＊一度目は現地の小学校に行きました。



私たちのグループは「浦島太郎」を読みました。子供にも分かってもらえるように発音にとっても気を使いました。やはり R と L の違いや、意外にも亀の発音が難しく苦戦しました。また各自が扇子や小箱などの小物を持ち寄ったり、飽きさせないように子供たちに質問したりと工夫を付け加えました。子供たちは日本語を少し知っていて「こんにちは」や「1~10」まで言えていました。

＊二度目は老人ホームに行きました。

二回目と言うこともあり、緊張することなく紙芝居が出来ました。今回は紙芝居だけでなく、各自が日本の写真を持ち寄り自己紹介も取り入れました。私は年上の方と話すほうが緊張することなく英語を使うことが出来ると感じました。

このとき体験から、他の介護施設もどのようになっているのか興味を持ちました。そこで元看護師の方をお願いをしていろいろと連れて行ってもらいました。

今学期はアメリカと日本からそれぞれ 2~3 人ずつで日本語を教えに行きました。フィンドレー大学から車で 15~20 分ぐらいのところにある小学校に行きました。

フィンドレーには「FABSS (Findlay After & Before School Session)」というものがあり、今回は放課後の時間を利用して希望する生徒に日本語を教えに行きました。主に、日本語の授業を取っているアメリカの学生が中心となって週二回の三週間の予定をたてます。



簡単なあいさつや、数字の教え方や書き方、名前の書き方などを教えました。

面白かったのが、日本語の数字の教え方を英語の Sun や Go の音に関連づけて教えたり、日本語のあいさつの歌があったりと、私の予想していない方法で教えました。

最後にはみんなで折り紙をしたり、日本語で自己紹介の発表をしたりしました。

・インターナショナルナイト

留学生の中で一番大きな行事だと思います。今年のフィンドレー大学には13の国から留学生が来ています。毎年だいたい4月の初旬にあります。この日のために各国がダンスの練習や、展示物やゲームの準備や食事を考えます。とても忙しい日でした。



この写真は、カタカナで名前を書いているところです。(この子の希望で、木の板に書いています)

事前に手作りのカードを作りそこに書いていたのですが、用意した枚数では足りず、その後はいろいろな物に筆ペンで書いていました。

他に「イモ版」を作ったり「折り紙」を教えたりしていました。とにかく人の波が止むことなく続くので、対応に追われていました。

また今年の日本のダンスは「ソーラン節」と「ソーランパラパラ」を踊りました。

ここ何年かずっと「ソーラン節」のみを踊っていると聞き、今年は何か違ったことがしたく「ソーランパラパラ」を踊りことに決めました。

練習は大変でしたが、成功することが出来ました。

衣装やメイクもみんなで案を出し合いました。

またこのダンスにはフィンドレーにいる日本人の子供たちにも参加してもらい、日本の文化を体験してもらっています。



・卒業式

アメリカでは卒業式が秋学期と春学期のあとに2回あります。今年のフィンドレー大学では、雪の卒業式と雨の卒業式になりました。



←秋学期

春学期→



体育館でのセレモニーのあと、学校の中心である「Old Main」の前を通り卒業していきます。私は両方とも見ていただけでしたが、今学期は卒業式の後で卒業生の着る衣装を借り着てみました。体験できて良かったです。

ちなみに映画のように、卒業式の後帽子を投げることはありませんでした。残念です。

IELP Schedule FALL 2007 Level3 Section 2

HOURS	MONDAY	TUSEDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY
9:00-9:50	Composition DAVS 184	<u>9:30-10:45</u> Communication Myers 110	Composition Myers 110	<u>9:30-10:45</u> Communication Myers 110	Composition Myers 110
10:00-10:50	Reading DAVS 184		Composition Myers 110		Composition Myers 110
11:00-11:50		<u>11:00-12:15</u> Reading DAVS 126		<u>11:00-12:15</u> Reading DAVS 126	
12:00-12:50					
1:00-1:50	Listening DAVS 126		Listening DAVS 126		Communication DAVS 185
2:00-2:50					
3:00-3:50	Grammar Myers 105	American Conversation	Grammar Myers 105	Grammar Myers 105	Grammar Myers 105
4:00-4:50					
5:00-6:50 TOEFL DAVS 185					